

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	直方北小学校	直方市日吉町7番1号	小学校	—	—	—	—	
	南校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	北校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎玄関			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
2	感田小学校	直方市大字感田1160番地	小学校	—	—	—	—	
	中校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
3	直方東小学校	直方市大字頓野2095番地1	小学校	—	—	—	—	
	給食室			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=1.21$ $q=4.86$	—	—	
	南校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.86$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	北校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
4	伊岐須小学校	飯塚市伊規須843	小学校	-	-	-	-	
	教室棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下④			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.24$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟⑤			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟⑥			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下⑦			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
5	菰田小学校	飯塚市菰田東二丁目560	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟(②-1,②-2,②-3,②-4)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
6	庄内小学校	飯塚市有安1-22	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟、給食棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
7	上穂波小学校	飯塚市筑穂元吉430番地	小学校	—	—	—	—	
	普通教室・管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	給食・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
8	筑穂中学校	飯塚市長尾903-1	中学校	-	-	-	-	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.34$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
9	二瀬中学校	飯塚市伊岐須740	中学校	-	-	-	-	
	普通教室東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.78$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.78$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
10	飯塚小学校	飯塚市西徳前2-6	小学校	-	-	-	-	
	西側普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	東側普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理、特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
11	飯塚第一中学校	飯塚市新立岩16-18	中学校	-	-	-	-	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
12	飯塚第二中学校	飯塚市柏の森483番地	中学校	-	-	-	-	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.09$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.51$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
13	飯塚東小学校	飯塚市下三緒54番地	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
14	穂波西中学校	飯塚市椿250-1	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ $G=1.05$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
15	立岩小学校	飯塚市立岩1176番地 1	小学校	-	-	-	-	
	普通教室棟①-1,①-2,①-3			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下・昇降口棟③-1,③-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下・昇降口棟④-1,④-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟⑤			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
16	鯉田小学校	飯塚市鯉田1263番地	小学校	-	-	-	-	
	管理棟①-1,①-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟②-1,②-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.52$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟④			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
17	弓削田小学校	田川市大字弓削田499	小学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎D棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎E棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
18	後藤寺小学校	田川市宮尾町1番9号	小学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
19	大浦小学校	田川市大字奈良161 6	小学校	—	—	—	—	
	校舎 17・21棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 18南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 18北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
20	大藪小学校	田川市大字奈良164 5-2	小学校	—	—	—	—	
	校舎 21-1A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 21-1B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 21-2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.81$ $C_{TU} \cdot S_D=1.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
21	金川小学校	田川市大字糶 1771	小学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
22	鎮西小学校	田川市大字伊田194 6-1	小学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
23	金川中学校	田川市大字糶 258	中学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.05	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.70	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=3.75	—	—	Es=0.7 として診断
24	中央中学校	田川市中央町 3-71	中学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05 C _{TU} ・S _D =0.35	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05 C _{TU} ・S _D =0.33	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
25	鎮西中学校	田川市大字伊田2024	中学校	—	—	—	—	
	校舎 23-2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 23-1北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 23-1南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
26	田川中学校	田川市大字糺1959	中学校	—	—	—	—	
	校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
27	伊田中学校	田川市大字夏吉197-1	中学校	—	—	—	—	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
28	蒲池小学校	柳川市金納 455	小学校	—	—	—	—	
	普通・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.42$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通・管理室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.75$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
29	中島小学校	柳川市大和町中島6 8	小学校	—	—	—	—	
	西校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.95$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
30	柳城中学校	柳川市本城町 82-2	中学校	—	—	—	—	
	東校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.05$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	西校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
31	三橋中学校	柳川市三橋町垂見580-1	中学校	-	-	-	-	
	北校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	南校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	屋内運動場			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
				「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.81$ $q=1.51$	-	-	3階混合構造部分
32	長峰小学校	八女市吉田654番地1	小学校	-	-	-	-	
	校舎14棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎15棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
33	上妻小学校	八女市津江73番地	小学校	-	-	-	-	
	昭和46年度校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.41$ $C_T \cdot S_D=0.48$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	昭和48年度校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.24$ $C_T \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
34	三河小学校	八女市酒井田 486番地1	小学校	—	—	—	—	
	校舎 17棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 19棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.54$ $C_{TU} \cdot S_D=1.02$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 20棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.92$ $q=2.84$	—	—	
	校舎 22棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
35	八幡小学校	八女市新庄 385番地	小学校	—	—	—	—	
	管理棟24			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室・特別教室棟25			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟26			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
36	忠見小学校	八女市忠見 980番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎南棟1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.05	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎南棟2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.05	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.00	—	—	Es=0.7 として診断
37	黒木西小学校	八女市黒木町大字本 分38番地の1	小学校	—	—	—	—	
	校舎N棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08 C _{TU} ・S _D =0.33	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎S棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 C _{TU} ・S _D =0.30	—	—	Es=0.7 として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08 C _{TU} ・S _D =0.64	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
38	立花小学校	八女市立花町谷川1058番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.55$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
39	西中学校	八女市前古賀132	中学校	—	—	—	—	
	校舎3-1,3-2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	—	—	$E_s=0.8$ として診断
	校舎5棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎6棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.37$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	—	—	$E_s=0.8$ として診断
	校舎7-1,7-2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
40	黒木中学校	八女市黒木町北木屋60番地	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下・便所棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
41	筑南中学校	八女市立花町白木6680番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.67$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎C棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
42	立花中学校	八女市立花町谷川859-2	中学校	-	-	-	-	
	校舎L棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎R棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
43	水田小学校	筑後市大字下北島172番地	小学校	-	-	-	-	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.70$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	給食棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.97$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
44	羽犬塚中学校	筑後市大字羽犬塚80番地	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.47$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
45	筑後中学校	筑後市大字水田104 6番地1	中学校	—	—	—	—	
	管理教室棟 (1-1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.55$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟 (1-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	給食棟 (2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟 (3)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.22$ $C_{TU} \cdot S_D=1.26$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟 (4)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟 (4の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟 (6)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.68$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
46	大野島小学校	大川市大字大野島 2673番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	田口小学校			—	—	—	—	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
47		校舎第1棟	大川市大字三丸2061番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.00 C _{TU} ・S _D =0.33	-	-	Es=0.7として診断
		校舎第2棟					-	-	Es=0.7として診断
		校舎渡り廊下					-	-	Es=0.7として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
48	木室小学校	大川市大字中木室 496番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎第1棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.12	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎第2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.45	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎第3棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.08	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎渡り廊下①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.12	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎渡り廊下②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.08	—	—	Es=0.7 として診断
49	三又小学校	大川市大字中古賀 198番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎第1棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 C _{TU} ・S _D =0.57	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎第2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.15 C _{TU} ・S _D =0.66	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.14 C _{TU} ・S _D =0.30	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
50	川口小学校	大川市大字一木482番地	小学校	-	-	-	-	
	校舎第1棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎第2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎第3棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎渡り廊下①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎渡り廊下②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
51	行橋南小学校	行橋市南大橋二丁目 1132-4、1190	小学校	-	-	-	-	
	校舎 ①-1(A)棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 ①-1(B)棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 ②-1棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.29$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 ②-2棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 ③棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 ④棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.40$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
52	泉小学校	行橋市泉中央四丁目 865-1、861-1、 1385-1	小学校	-	-	-	-	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(東)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(北)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.52$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.46$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
53	仲津小学校	行橋市大字道場寺1 439番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎 ②棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.00	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎 ③棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.04	—	—	Es=0.7 として診断
54	行橋中学校	行橋市中央 一丁目 2058-13、 2236-4	中学校	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.00 C _{TU} ・S _D =0.39	—	—	Es=0.7 として診断
	渡り廊下棟 (東)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.44 C _{TU} ・S _D =0.34	—	—	Es=0.7 として診断
	渡り廊下棟 (西)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04 C _{TU} ・S _D =0.30	—	—	Es=0.7 として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 C _{TU} ・S _D =0.80	—	—	Es=0.7 として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.18 C _{TU} ・S _D =0.66	—	—	Es=0.7 として診断
	②-4棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05 C _{TU} ・S _D =0.33	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
55	八屋小学校	豊前市大字八屋223 2番地1	小学校	—	—	—	—	
	教室・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	屋外階段室1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	便所1			(一財)日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第2次診断法」	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	便所2			(一財)日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第2次診断法」	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
56	八屋中学校	豊前市大字赤熊136 3-1	中学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.50$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.75$ $C_{TU} \cdot S_D=1.00$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	技術教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=3.24$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
57	千束中学校	豊前市大字吉木112 2番地1	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別教室・普通 教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
58	底井野小学校	中間市大字上底井野 825番地	小学校	—	—	—	—	
	A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
59	中間東小学校	中間市大字中間3364 番地	小学校	—	—	—	—	
	教室棟(26-1,26-2 棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟(27 棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.44$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(28棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
60	中間小学校	中間市長津一丁目 6826	小学校	—	—	—	—	
	管理・特別・普通教室棟(23-1),普通教室・給食棟(23-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟(24-1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟(24-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
61	中間北小学校	中間市大字岩瀬540番地	小学校	—	—	—	—	
	西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
62	中間南小学校	中間市大字中間176-2	小学校	-	-	-	-	
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	南西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	南東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
63	中間西小学校	中間市大字中間字大辻2281-1	小学校	-	-	-	-	
	管理・普通・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
64	中間中学校	中間市大字下大隈2620番地	中学校	-	-	-	-	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別・管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
65	中間北中学校	中間市岩瀬475番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	Es=0.7 として診断
66	中間東中学校	中間市大字中間2570番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎(24-1,24-2棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎(24-3,24-4棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	Es=0.7 として診断
67	大原小学校	小郡市大保1394番地	小学校	—	—	—	—	
	特別教室管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	Es=0.7 として診断
	教室棟-北			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Es=0.7 として診断
	教室棟-南			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
68	小郡中学校	小郡市福童 668番地	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟 (A棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟 (B棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟 (C棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟 (渡り廊下棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.97$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
69	筑紫小学校	筑紫野市大字筑紫5 08	小学校	—	—	—	—	
	管理教室棟 (西棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.04$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟 (東棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.20$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
70	二日市北小学校	筑紫野市二日市北八 丁目 2-1	小学校	—	—	—	—	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.50$ $C_T \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_T \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
71	筑山中学校	筑紫野市大字下見585-1	中学校	-	-	-	-	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
72	筑紫野中学校	筑紫野市大字針摺101-1	中学校	-	-	-	-	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so}=1.08$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
73	春日小学校	春日市昇町1丁目14番地	小学校	-	-	-	-	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別管理普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
74	春日西小学校	春日市下白水南4丁目134番地	小学校	—	—	—	—	
	管理・特別普通教室棟(西)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別普通教室棟(東)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟(北)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.67$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟(南)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.91$ $q=1.81$	—	—	
	昇降口			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.82$ $q=2.52$	—	—	
	昇降口(倉庫)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.79$ $q=3.16$	—	—	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
75	春日東小学校	春日市若葉台東1丁目51番地	小学校	—	—	—	—	
	管理・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
76	春日南小学校	春日市春日8丁目10番地	小学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
77	春日北小学校	春日市岡本1丁目35番地	小学校	—	—	—	—	
	管理・特別・普通教室棟 (1-1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別・普通教室棟 (1-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別・普通教室棟 (1-3~5)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
78	須玖小学校	春日市須玖南2丁目71番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
79	大谷小学校	春日市大谷4丁目1番地	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟(①-1、②-1の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟(①-2、①-3)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
80	天神山小学校	春日市天神山6丁目39番地	小学校	—	—	—	—	
	教室棟(東)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(西)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
81	春日西中学校	春日市一の谷5丁目49番地	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟(南)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟(北)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	屋内運動場			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
82	春日中学校	春日市須玖南2丁目172番地	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟1-1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.07$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟1-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟1-4、5			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.11$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理普通教室棟 2-1、-2、-3			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
83	大野小学校	大野城市瓦田3丁目2番1号	小学校	—	—	—	—	
	北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.22$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
84	大野北小学校	大野城市山田4丁目17番1号	小学校	—	—	—	—	
	普通特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南-1、南-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	・1～3階鉄筋コンクリート造部分 ・ $E_s=0.7$ として診断
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.98$ $q=1.19$	—	—	2, 3階鉄骨造部分
	南-3			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南-4			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=1.01$ $q=2.56$	—	—	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
85	大野南小学校	大野城市南ヶ丘4丁目18番1号	小学校	—	—	—	—	
	管理・普通・特別教室棟(1棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通・特別教室棟(5棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
86	大野東小学校	大野城市乙金1丁目18番1号	小学校	—	—	—	—	
	北棟・渡り廊下A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
87	平野小学校	大野城市横峰2丁目4番1号	小学校	—	—	—	—	
	特別・普通・管理室棟(1棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟(6棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
88	大城小学校	大野城市大城3丁目29番1号	小学校	—	—	—	—	
	特別・普通・管理室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=3.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
89	下大利小学校	大野城市東大利4丁目8番1号	小学校	—	—	—	—	
	A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
90	御笠の森小学校	大野城市御笠川1丁目7番1号	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
91	大野東中学校	大野城市乙金台2丁目5番1号	中学校	—	—	—	—	
	管理・普通・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
92	平野中学校	大野城市つつじヶ丘4丁目1番1号	中学校	—	—	—	—	
	A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
93	城山中学校	宗像市陵巖寺1-386-1	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別・教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
94	太宰府南小学校	太宰府市高雄2丁目3855番地	小学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	本館			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
95	水城西小学校	太宰府市大字向佐野 90番地	小学校	—	—	—	—	
	普通教室・給食室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
96	太宰府西小学校	太宰府市大佐野4丁目6番30号	小学校	—	—	—	—	
	教室棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	階段棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.31$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口階段棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
98	学業院中学校	太宰府市観世音寺3丁目11番1号	中学校	—	—	—	—	
	北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
97	太宰府中学校	太宰府市五条4丁目9番1号	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.02	—	—	Es=0.7として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.31	—	—	Es=0.7として診断
	技術教室棟1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=5.35	—	—	Es=0.7として診断
	技術教室棟2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=4.47	—	—	Es=0.7として診断
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.12	—	—	Es=0.7として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
99	古賀東小学校	古賀市新久保2丁目1番1号	小学校	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南側教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	北側教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南側渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	北側渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
100	古賀西小学校	古賀市天神7丁目4番1号	小学校	—	—	—	—	
	西側教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東側教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断		

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
101	花鶴小学校	古賀市花鶴丘1丁目21番	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
102	千鳥小学校	古賀市千鳥4丁目1番1号	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
103	古賀中学校	古賀市久保107番地	中学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
104	神輿東小学校	福津市津丸950	小学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
105	福間小学校	福津市西福間 2-4-1	小学校	-	-	-	-	
	教室棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
106	津屋崎中学校	福津市津屋崎566-1	中学校	-	-	-	-	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.44$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
107	福間中学校	福津市花見が丘2-10-1	中学校	-	-	-	-	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
108	福間東中学校	福津市津丸 663	中学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.44$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
109	浮羽中学校	うきは市浮羽町東隈 上344-1	中学校	—	—	—	—	
	北校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
110	稲築西小学校	嘉麻市口春615番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟①②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
111	稲築中学校	嘉麻市口春629番地	中学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.08$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.47$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=2.10$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=3.15$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
112	稲築東小学校	嘉麻市平1429番地1	小学校	—	—	—	—	
	校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_T \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	体育館			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ $C_T \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
113	碓井小学校	嘉麻市上臼井868番地	小学校	—	—	—	—	
	A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	便所棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.60$ $C_{TU} \cdot S_D=1.47$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
114	碓井中学校	嘉麻市平山440番地	中学校	—	—	—	—	
	西校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.08$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.14$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降所棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.77$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.55$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
115	山田中学校	嘉麻市下山田2番地	中学校	-	-	-	-	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	屋内運動場			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.30$ $C_{TU} \cdot S_D=0.86$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
116	稲築東中学校	嘉麻市平1536番地	中学校	-	-	-	-	
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.17$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.11$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	屋内運動場			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.27$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	技術科棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=3.90$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
117	秋月小学校	朝倉市長谷山 50番地	小学校	—	—	—	—	
	管理・特別・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室・給食室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
118	朝倉東小学校	朝倉市須川 2680番地	小学校	—	—	—	—	
	西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
119	十文字中学校	朝倉市三奈木 3710番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎 (1-1一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 (1-1一部、 1-2一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 (1-2一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
120	南陵中学校	朝倉市平塚 1519番地	中学校	—	—	—	—	
	管理・特別・普通教室 棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.48$ $C_{TU} \cdot S_D=0.85$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別・普通教室 棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別・普通教室 棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
121	甘木中学校	朝倉市堤 1430番地1	中学校	—	—	—	—	
	校舎A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.47$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.72$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
122	比良松中学校	朝倉市宮野 2030番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎 (⑩の一部、 ⑪の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎 (⑫の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
123	瀬高中学校	みやま市瀬高町下庄 1885	中学校	—	—	—	—	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
124	波多江小学校	糸島市波多江駅北4丁目550-1他	小学校	-	-	-	-	
	管理教室棟(1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.23$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	
	教室棟(17-1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.58$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(17-2,17-3)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	-	-	
125	前原小学校	糸島市前原東2丁目1303-1他	小学校	-	-	-	-	
	教室棟(18-1,18-2,18-3,20)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟(21)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	給食室棟(22,23)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
126	前原東中学校	糸島市井田658番地他	中学校	-	-	-	-	
	教室棟(13-1,13-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟(14-1,14-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.22$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
127	那珂川南中学校	筑紫郡那珂川町上梶原1丁目2-1	中学校	-	-	-	-	
	北側校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	西側校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	南側校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.67$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
128	宇美東小学校	糟屋郡宇美町宇美東三丁目7番1号	小学校	-	-	-	-	
	普通教室棟①-1、管理・特別教室棟の一部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理・特別教室棟の一部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟①-3、管理・特別教室棟の一部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
129	原田小学校	糟屋郡宇美町原田三丁目1番1号	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟①②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
130	宇美小学校	糟屋郡宇美町宇美三丁目9番1号	小学校	—	—	—	—	
	管理教室棟普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.06$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
131	篠栗小学校	糟屋郡篠栗町大字篠栗5026	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
132	勢門小学校	糟屋郡篠栗町大字尾仲671	小学校	—	—	—	—	
	西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.54$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	中央棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
133	北勢門小学校	糟屋郡篠栗町大字津波黒497	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.32$ $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.91$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
134	篠栗中学校	糟屋郡篠栗町大字篠栗4727	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
135	志免中央小学校	糟屋郡志免町中央1丁目8番1号	小学校	—	—	—	—	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室・給食室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
136	志免西小学校	糟屋郡志免町別府2丁目4番1号	小学校	—	—	—	—	
	普通・特別教室棟⑰			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟⑱			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
137	志免東小学校	糟屋郡志免町志免東 1-1-1	小学校	-	-	-	-	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
138	志免南小学校	糟屋郡志免町大字吉原556番地	小学校	-	-	-	-	
	管理棟①-1,-2の一部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟①-2の一部, ①-3			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室・渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
139	志免中学校	糟屋郡志免町片峰4丁目3番1号	中学校	-	-	-	-	
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
140	志免東中学校	糟屋郡志免町志免東四丁目4番1号	中学校	—	—	—	—	
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室・渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
141	須恵第一小学校	糟屋郡須恵町大字上須恵962番地2	小学校	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
142	須恵第二小学校	糟屋郡須恵町大字植木260-5番地	小学校	-	-	-	-	
	⑭管理特別普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	⑮管理特別普通教室棟・⑰特別普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
143	須恵中学校	糟屋郡須恵町大字上須恵1167番地1	中学校	-	-	-	-	
	特別普通教室棟(旧館)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	特別管理普通教室棟(本館)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.76$ $q=3.04$	-	-	
144	新宮小学校	糟屋郡新宮町下府3丁目12番1号	小学校	-	-	-	-	
	管理教室棟、教室棟(13-1,13-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟、教室棟(15-1,15-2)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	資料倉庫(16)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.38$ $C_{TU} \cdot S_D=1.35$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
145	久山中学校	糟屋郡久山町大字久原3553番地3	中学校	—	—	—	—	
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
146	仲原小学校	糟屋郡粕屋町仲原1丁目1367	小学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.70$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
147	粕屋西小学校	糟屋郡粕屋町大字仲原2446番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
148	芦屋小学校	遠賀郡芦屋町白浜町 3786	小学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
149	芦屋東小学校	遠賀郡芦屋町浜口町 5-55	小学校	—	—	—	—	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.64$ $C_{TU} \cdot S_D=0.94$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
150	山鹿小学校	遠賀郡芦屋町大字山鹿2853番地	小学校	—	—	—	—	
	管理・特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=3.54$ $C_{TU} \cdot S_D=2.02$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.57$ $C_{TU} \cdot S_D=1.47$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
151	芦屋中学校	遠賀郡芦屋町中ノ浜3635-1	中学校	—	—	—	—	
	教室棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟⑨			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
152	頃末小学校	遠賀郡水巻町頃末北4丁目13番1号	小学校	—	—	—	—	
	南校舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	Es=0.7 として診断
153	水巻中学校	遠賀郡水巻町中央17番1号	中学校	—	—	—	—	
	北校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	Es=0.7 として診断
	南校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	Es=0.7 として診断
154	海老津小学校	遠賀郡岡垣町海老津1丁目21-1	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟①-1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎棟①-2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.44$ $C_{TU} \cdot S_D=0.86$	—	—	Es=0.7 として診断
	校舎棟①-3			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.94$ $C_{TU} \cdot S_D=1.11$	—	—	Es=0.7 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
155	岡垣中学校	遠賀郡岡垣町野間3丁目1番1号	中学校	—	—	—	—	
	①-1棟、⑩棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	①-2棟、①-3棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	①-8棟、①-9棟、 ⑬棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	①-1棟(便所棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=1.20$	—	—	$E_s=0.9$ として診断
156	岡垣東中学校	遠賀郡岡垣町山田峠2丁目5番1号	中学校	—	—	—	—	
	普通教室棟(①-1,①-4)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟(①-2,①-3)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.57$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
157	遠賀中学校	遠賀郡遠賀町大字別府200番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎棟(1-1)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
158	桂川小学校	嘉穂郡桂川町土居552番地	小学校	—	—	—	—	
	北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.10$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	中央棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.28$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.01$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
159	桂川中学校	嘉穂郡桂川町土居524番地	中学校	—	—	—	—	
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.67$ $C_{TU} \cdot S_D=0.97$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
160	三輪小学校	朝倉郡筑前町新町400番地	小学校	—	—	—	—	
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.04	—	—	Es=0.7として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.34	—	—	Es=0.7として診断
161	木佐木小学校	三潯郡大木町大字八町牟田623番地	小学校	—	—	—	—	
	東棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.07	—	—	Es=0.7として診断
	西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.03	—	—	Es=0.7として診断
162	勾金小学校	田川郡香春町大字高野758番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟 (19-1棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.57 C _{TU} ・S _D =0.44	—	—	Es=0.7として診断
	校舎棟 (20棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=2.28 C _{TU} ・S _D =0.65	—	—	Es=0.7として診断
	校舎棟 (18棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.38 C _{TU} ・S _D =0.3	—	—	Es=0.7として診断
	校舎棟 (19-2棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.50 C _{TU} ・S _D =0.32	—	—	Es=0.7として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
163	勾金中学校	田川郡香春町大字高野1433番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎棟A			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟B			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.34$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
164	香春中学校	田川郡香春町大字香春152番地	中学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
165	添田小学校	田川郡添田町大字添田1333番地	小学校	—	—	—	—	
	校舎棟 (第14棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟 (第15棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟 (第16棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.50$ $C_{TU} \cdot S_D=1.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟 (第17棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟 (第19棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.73$ $q=1.97$	—	—	
	渡り廊下棟 (第20棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=1.85$ $q=1.48$	—	—	
	渡り廊下棟 (第21棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=1.03$ $q=1.39$	—	—	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
166	添田中学校	田川郡添田町大字添田1605番地	中学校	—	—	—	—	
	管理・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室北棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室南棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.57$ $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟(A)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=1.13$ $q=1.13$	—	—	
	便所棟・渡り廊下棟(C)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.47$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟(B)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.57$ $C_{TU} \cdot S_D=0.93$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
167	糸田中学校	田川郡糸田町3349番地	中学校	—	—	—	—	
	管理普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.52$ $C_{TU} \cdot S_D=0.90$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
168	鷹峰中学校	田川郡川崎町大字川崎517	中学校	—	—	—	—	
	南校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	北校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
169	川崎中学校	田川郡川崎町大字川崎3670	中学校	—	—	—	—	
	管理教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.34$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.08$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
170	大任小学校	田川郡大任町大字大行事3040番1	小学校	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	$E_s=0.7$ $U=1.05$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
171	金田小学校	田川郡福智町金田962番地	小学校	—	—	—	—	
	教室棟（東）			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.85$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟（西）			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟（東）			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.35$ $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟（西）			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.78$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.20$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.67$ $C_{TU} \cdot S_D=1.13$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
172	伊方小学校	田川郡福智町伊方3922番地	小学校	—	—	—	—	
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
173	与原小学校	京都郡苅田町大字下新津467-1	小学校	—	—	—	—	
	教室棟013			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.01$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟015			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.22$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.42$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
174	苅田中学校	京都郡苅田町大字堤2970-2	中学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【小学校、中学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
175	築城小学校	築上郡築上町大字上別府305番地	小学校	—	—	—	—	
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.01	—	—	Es=0.7として診断
	教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.01	—	—	Es=0.7として診断
	機械室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1977年版)	Is/Iso=1.08	—	—	Es=0.7として診断
176	椎田中学校	築上郡築上町大字高塚158番地2	中学校	—	—	—	—	
	校舎棟 (①-1、①-2の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.62 C _{TU} ・S _D =0.44	建替え	令和7年～令和8年	・Es=0.7として診断 ・平成28年8月一部耐震改修済
	校舎棟 (①-2の一部)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.56 C _{TU} ・S _D =0.40	建替え	令和7年～令和8年	・Es=0.7として診断 ・平成28年8月一部耐震改修済
	校舎棟 (⑩)		(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 C _{TU} ・S _D =0.67	—	—	Es=0.7として診断	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	県立輝翔館中等教育学校	八女市黒木町桑原10-2	中等教育学校	-	-	-	-	
	本館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室B棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	便所棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.50$ $C_{TU} \cdot S_D=0.88$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	体育館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
2	県立直方特別支援学校	直方市下境410-2	特別支援学校	-	-	-	-	
	本館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_T \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟 小学部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=2.07$ $C_T \cdot S_D=0.39$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟 中学部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ $C_T \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	教室棟 高等部			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.23$ $C_T \cdot S_D=0.30$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	食堂棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=3.54$ $C_T \cdot S_D=0.66$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
3	県立柳河特別支援学校	柳川市三橋町今古賀 170	特別支援学校	—	—	—	—	
	東側校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.20$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	西側校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so}=1.14$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	体育館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.78$ $q=1.16$	—	—	
4	県立筑後特別支援学校	筑後市大字下北島3 18	特別支援学校	—	—	—	—	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.63$ $C_{TU} \cdot S_D=0.92$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.24$ $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟③			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟④			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟⑤			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	—	—	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟⑦			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
5	県立小郡特別支援学校	小郡市下岩田 2341-3	特別支援学校	-	-	-	-	
	管理特別教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
6	県立福岡視覚特別支援学校	筑紫野市大字牛島字 石橋114	特別支援学校	-	-	-	-	
	校舎北西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.34$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.60$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	渡り廊下棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.94$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
7	県立古賀特別支援学校	古賀市千鳥 3-4-1	特別支援学校	-	-	-	-	
	校舎棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	校舎棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.84$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.92$ $q=2.09$	-	-	
8	県立川崎特別支援学校	田川郡川崎町大字川崎2343	特別支援学校	-	-	-	-	
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.71$ $q=1.64$	-	-	
	校舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.69$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	管理棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.63$ $C_{TU} \cdot S_D=0.95$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
	昇降口棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	-	-	$E_s=0.7$ として診断
9	県立築城特別支援学校	築上郡築上町築城1561	特別支援学校	-	-	-	-	
	体育館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.66$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	-	-	・屋根以外 ・ $E_s=0.7$ として診断
				「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.84$ $q=1.53$	-	-	屋根部分
	管理・普通教室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	-	-	$E_s=0.7$ として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【体育館（一般公共の用に供されるもの）】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	直方市体育館	直方市大字直方674-25	体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	U=1.25として診断
2	飯塚第一体育館	飯塚市枝国666番地11	体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.52$ $C_{TU} \cdot S_D=0.20$	建替え	令和2年5月～令和5年3月 (既存については用途廃止済)	U=1.25として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	飯塚病院	飯塚市芳雄町3-83	病院	-	-	-	-	
	旧本館(西)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.41$ $C_{TU} \cdot S_D=0.20$	除却	令和2年3月完了	
	旧本館(中央)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.23$ $C_{TU} \cdot S_D=0.15$	除却	令和2年3月完了	
	旧本館(東)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.63$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	除却	令和2年3月完了	
	内科外来棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.68$	-	-	地下1階、地上1階鉄筋コンクリート造部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=1.04$	-	-	・2階階段室鉄筋コンクリート造部分 ・ $E_s=0.8$ として診断
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.61$ $q=2.44$	耐震改修	令和2年3月完了	2階診療室鉄骨造部分
	内科外来棟(男女便所棟)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=2.12$	-	-	$E_s=0.8$ として診断
	内科外来棟(渡り廊下)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.40$	-	-	地下1階、地上1階鉄筋コンクリート造部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.95$ $q=1.15$	耐震改修	令和2年3月完了	2、3階鉄骨造部分
中央棟	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	耐震改修	令和2年3月完了				

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	中央棟(北側渡り廊下)	飯塚市芳雄町3-83	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=1.76$ $q=7.04$	耐震改修	令和2年3月完了	
	中央棟(南側渡り廊下)			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=1.28$ $q=5.13$	耐震改修	令和2年3月完了	
	空調機械室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	耐震改修	令和2年3月完了	
	標本乾燥室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=1.06$	-	-	$E_s=0.8$ として診断
	オートクレイブ室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so}=2.26$	-	-	$E_s=0.8$ として診断
	南A病棟A1			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	-	-	
	南A病棟A2			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ $C_{TU} \cdot S_D=0.50$	耐震改修	令和2年3月完了	1~3階
	南B病棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	耐震改修	令和2年3月完了	搭屋
	生活棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	耐震改修	令和2年3月完了	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
2	田川新生病院	田川市夏吉3638番地	病院	—	—	—	—	
	病棟①			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.60$ $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	
	病棟②			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.50$ $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	
	外来管理治療棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	
	機能訓練棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.65$ $q=2.62$	耐震改修	平成29年8月完了	
	渡り廊下及び小屋			—	—	除却済	平成29年8月完了	

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【劇場、観覧場、映画館、演芸場】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	飯塚オートレース場 第一スタンド	飯塚市鯉田147	観覧場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.27$ $C_{TU} \cdot S_D=0.15$	建替え	令和4年3月 ～ 令和7年6月	$E_s=0.7$ として診断
2	飯塚オートレース場 第二スタンド	飯塚市鯉田147	観覧場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.55$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	除却	検討中	・1,2階鉄筋コンクリート造部分 ・ $E_s=0.7$ として診断
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)及び「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.20$ $q=1.05$	除却	検討中	3,4階鉄骨造部分

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【集会所、公会堂】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	パドゥー・ル・コトブキ	飯塚市片島一丁目 597-1他12筆	集会場 (結婚式場)	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	—	—	
2	大川市文化センター	大川市大字酒見221 番地11	集会場	—	—	—	—	
	大ホール棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	U=1.25 として診断
	展示ホール棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	U=1.25 として診断
	公民館棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.80$	—	—	U=1.25 として診断
	機械室棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	U=1.25 として診断

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	イオン二日市店	筑紫野市二日市字芦原630～632、字土取577他	物品販売店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	1～4階鉄筋コンクリート造部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.85$ $q=1.02$	—	—	増築部①(3階鉄骨造部分)
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.66$ $q=1.33$	—	—	増築部②(1～3階鉄骨造部分)

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【ホテル、旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	原鶴温泉 泰泉閣	朝倉市杷木志波20番地	旅館	—	—	—	—	
	1号館			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.43$ $C_{TU} \cdot S_D=0.22$	建替え	検討中	
	2号館 ②-1棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.16$ $C_{TU} \cdot S_D=0.08$			
	2号館 ②-1A棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.83$ $C_{TU} \cdot S_D=0.16$			
	2号館 ②-2棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.19$ $q=0.34$			
	2号館 ②-3棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.93$ $C_{TU} \cdot S_D=0.47$			1階鉄筋コンクリート造部分
				「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.11$ $q=0.21$			2階鉄骨造部分
	3号館			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.22$ $C_{TU} \cdot S_D=0.11$			

耐震診断の結果の公表【 要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【幼稚園、保育園】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	芦屋中央幼稚園	遠賀郡芦屋町高浜町3036番地の1、3039番地の5、1455番地の36	幼稚園	—	—	—	—	
	園舎			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.26$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	
	遊戯室			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.33$ $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（福岡県が所管する分）】

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	柳川市役所 柳川庁舎	柳川市本町 87番1	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)及び(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$	耐震改修	平成29年11月完了	U=1.25 として診断
2	豊前市役所庁舎	豊前市大字吉木955番地	庁舎	—	—	—	—	
	本庁舎棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ $C_{TU} \cdot S_D=0.43$	耐震改修	令和3年12月完了	U=1.25 として診断
	議会棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	耐震改修	令和3年12月完了	U=1.25 として診断
3	中間市庁舎本館	中間市中間一丁目 6683-2	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	耐震改修	平成30年3月完了	
4	宗像市役所	宗像市東郷一丁目1-1	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.09$ $C_{TU} \cdot S_D=0.83$	-	-	U=1.5 として診断
5	朝倉市役所	朝倉市菩提寺 412-2	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.45$ $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	建替え	令和7年度完了予定	U=1.5 として診断
6	苅田町役場	京都郡苅田町富久町 1丁目19番地1	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.25$ $C_{TU} \cdot S_D=0.11$	建替え	令和12年度完了予定	U=1.25 として診断